

あなたの大切な人を守るAED!

AEDとは、自動体外式除細動器のことで、電源ボタンを押すと音声で操作が指示され、救助者がそれに従って除細動（傷病者の心臓に電気ショックを与えること）を行う装置です。AEDは自動的に心電図を解析し、電気ショックを与える必要性の有無を判断することができるので、医学的知識がない一般人でも、AEDの音声に沿って簡単な操作で救命処置ができる優れたものの医療機器です。



各種AED

そもそもAEDが何故必要なのでしょう？

目の前で人がいきなり倒れるような場面に遭遇することが、一生のうち一度あれば多い方です。中には二度、三度と遭遇する人もいるかも知れません。ほとんどの人は、自分に限ってそんな場面に直面することがないと思い込んでいるでしょう。しかし、現実として心臓病で亡くなる人たちの数は、交通事故で亡くなる人よりも、はるかに多いのが現状です。

自分の目の前で人が倒れている場に直面した人達は、自分以外に周りで救助活動してくれる人がいないかを探したという人が多いようです。もちろん、救助の知識や実践の経験があれば、すぐにでも救助活動ができるのですが、知識や実践の経験がなければ誰でもそうなると思います。

もし救助活動が自分だけの場合、倒れている人が呼吸をしていないと分かっても、心肺蘇生法を全く知らなければ、どうしたらいいか対処に困ります。それが、自分の家族や自分の大切な人に起こった場合、パニックに陥るでしょう。そういう時にAEDがあれば、そしてAEDを使うことができ、心肺蘇生法の知識があれば、助かる命・助けられる命がたくさんあるのです。

しかし、AEDは誰もが使えることは知っていても、実際にどこに設置してあるか知っていますか？グリーンシティの敷地内には、B棟・D棟・E棟各1階エントランスホールと管理事務所の4か所にAEDがあります。町の中では、現在色んな所に設置されています。不思議なことに、普通救命講習（心肺蘇生講習）を受講すると今まで知らなかったAEDの設置場所が目につくようになります。また、AEDの使い方が分からなくても、AEDをどのような時に使うものなのかは知っておきましょう。実際のAEDを見たことも、どんな形なのか知らなくても、AED設置マークを見た覚えはあるはずです。AEDなんて自分には関係ないと決め付けしないで、どんなことでもいいのでAEDを知ることが重要なことなのです。



献血をすると、飴やドリンクがもらえるサービスがあるのはよく知られています。なかには、マッサージをしてくれたり、花をくれたりするところもあるそうです。サービスをしないと献血する人が集まらないのは残念ですが、サービスすることで多くの人の興味をひくのは素晴らしいシステムです。

一般的な救命講習ではこのようなサービスはありませんが、ポイントがたまるカードがもらえるところもあるようです。しかし、残念ながらポイントをためても何ももらえないそうです。



でも、救命講習を受講した人の特典としては「自分の大切な人の命を守る」ことができるようになる、これ以上ないビッグなプレゼントではないですか。

「町で倒れている人の命を救うため」と、考えるから受講率は上がらないのです。自分の大切な人が目の前で倒れた。その時、あなたは何もせずに助けがくるのを待つのですか？それは1分？それとも2分ですか？きつい言い方かも知れませんが、あなたの大切な人が死んでいくのを、あなた自身がカウントダウンするのですか？救急車を依頼しても、到着するまで全国平均約6分は必要です。人が倒れた瞬間から救急車が到着するまでと考えると、その間全く何もしないと、即、心肺蘇生法とAEDによる対処を行うのでは「生きるか、死ぬか」ではなく、「社会復帰できるか、死ぬか」の差がでるのです。

グリーンシティでは、普通救命講習を定期的に行っているため、ぜひ家族全員で受講してください。

本原稿を作成中に、サッカー元日本代表DFの松田直樹（34歳）選手が、練習中に急性心筋梗塞で倒れ心肺停止状態となるニュースが飛び込んできました。倒れた練習場では、見学していた女性看護師が、すぐに心臓マッサージを施したそうですが、病院に搬送された時には、既に心肺停止状態だったとのこと。この練習場にAEDは設置されていなかったそうです。もし、この練習場にAEDがあれば・・・と、考えるのは私だけではないはずです。

※AEDを使用することで、傷病者がその状況より悪くなることは絶対にありません。



グリーンシティにあるAEDの維持管理はエントランスのAED支援自販機の売上で維持されています！



最後にお願ひ！「近所の人々が助けてくれる。誰かが助けてくれる」等、他人依存は絶対にしないでね！！